– 互いに素である数の和 –

例えば $2 \ge 5$ の共通の約数で最大のもの(最大公約数)は 1 です。一般に最大公約数が 1 である 2 つの数を「互いに素」といいます。

|問題||100より小さくて,100と互いに素である自然数の総和はいくらでしょうか。(1も含みます)

$$1+2+\cdots\cdots+n=\frac{n(n+1)}{2}$$
 を用いてもよろしい.

—解答例—

$\mathbf{M} \mathbf{1}$ 求める和を S とすると

$$S=1+3+7+9+\cdots\cdots+91+93+97+99$$
 であり、逆から書くと $S=99+97+93+91+\cdots\cdots+9+7+3+1$ となるから $2S=\underbrace{100+100+100+\cdots\cdots+100}_{40 \ \text{M}}$ $=100\times40$ となり $S=100\times20=\mathbf{2000}$ (答)

解2 $100 = 2^2 \times 5^2$ であるから,

1から100までの数の和から2または5の倍数の和を引けばよい.

2 の倍数の和を S_2 , 5 の倍数の和を S_5 , 10 の倍数の和を S_{10} とおくとき

$$S = \left(1+2+3+\cdots\cdots+100\right) - \left\{S_2+S_5-S_{10}\right\}$$
 $S_2 = +2+4+\cdots\cdots+100 = 2(1+2+\cdots\cdots+50)$
 $= 2 \times \frac{50(50+1)}{2} = 2550$
 $S_5 = 5+10+15+\cdots\cdots+100 = 5(1+2+3+\cdots\cdots+20)$
 $= 5 \times \frac{20(20+1)}{2} = 1050$
 $S_{10} = 10+20+\cdots\cdots+100 = 10(1+2+\cdots\cdots+10)$
 $= 10 \times \frac{10(10+1)}{2} = 550$
 $S = \frac{100(100+1)}{2} - S_2 - S_5 + S_{10}$ であるから
 $S = 5050 - 2550 - 1050 + 550 = 2000$ (答)

 $\fbox{ extbf{i}}$ n が, $n=p_1^{a_1}p_2^{a_2}\cdot\dots\cdot p_k^{a_k}$ と素因数分解されるとき,加えて n になる数は

$$n\left(1-\frac{1}{p_1}\right)\left(1-\frac{1}{p_2}\right)\cdots\left(1-\frac{1}{p_k}\right)$$

個ある

$$100=2^2\times 5^2$$
 だから, $100\left(1-\frac{1}{2}\right)\left(1-\frac{1}{5}\right)=40$ 個ある.この個数をオイラー関数という.